

| 学校の教育目標  |   |
|--|---|
| 一、自ら学び、考える人になろう<br>一、礼節を重んじ、思いやりのある人になろう<br>一、骨身を惜しまず、働く人になろう<br>一、体を鍛え、健康な人になろう           |   |
| 目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像  |   |
| (1) 「生きる力」を育て、個を伸ばす学校<br>(2) 生命をいつくしみ、人の尊厳を重んじる心を育てる学校<br>(3) 社会奉仕の精神を養う学校<br>(4) 安全で安心な学校 |   |
| <b>ビジョンの設定理由<br/>(本校の現状と課題)</b>  | 3年間のコロナ禍における教育活動は、少なからず学校に様々な制約をもたらした。その中で、創意・工夫をしながら学びを止めず、だれ一人取り残すことが無いよう教育活動を展開してきた。その活動を踏まえ、コロナ禍以前の教育活動と、コロナ禍の教育活動を多面的・多角的に捉えなおし、不易流行の精神を以て、さらなる進化を遂げることが求められている。 |

| 教科      | 目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力   | 資質・能力を育成するための具体的取組   |
|---------|---|--|
| 国語      | 他者とのコミュニケーションに生かせる豊富な語彙を身に付け、自分の考えを表現する力、相手の意図を理解しやり取りする力を身に付ける。                  | 話し合い活動、スピーチ、文章を書く機会を意図的・段階的に設定する。社会の問題を取り上げ、それに対する考えをもたせる。いろいろな意見を批評できるようにするため、根拠をあげて発表できるようにする。                     |
| 社会      | 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を通し、社会的な見方・考え方を育てる。                                       | 毎授業において学習のねらいを明確にし、振り返りの機会を設ける。「社会的な見方・考え方」を働かせて、課題解決を図る場面を設定する。   |
| 数学      | 問題解決に必要な情報を生徒自身が集めたり選択したり帰納的に考えたりすることで、きまりを見付けたり、見出したきまりを、既習内容を生かして説明したりできるようにする。 | 単元ごとに、説明する問題を設定し、既習事項を生かして説明する機会を設ける。単元の振り返りで、既習事項を整理させ、次の単元とのつながりを意識させる。  |
| 理科      | 自然事物・現象に対する興味関心を高め、基礎的な学力の定着を目指す。また、実験・観察を行い、その結果を分析し解釈し表現できる力を身に付ける。             | 視聴覚教材を取り入れながら日常生活と学習事項との関わりを示し、自然事物・現象に対する興味関心を高める。観察・実験の機会を増やし、結果に対する考察を個人で考えて各班で共有してまとめさせ、発表させることで思考力・判断力・表現力等を育む。 |
| 音楽      | 主体的に音楽の特徴を捉え、合唱や鑑賞等で表現につなげる力を養う。特に歌唱活動においてより良い作品を作り上げるようこれまで学んだことを生かす力を身に付ける。     | 鑑賞のみならず、歌唱・創作・器楽等の中から知識を深めさせ、基本となる音楽的諸要素と表現活動のつながりに「気づく力」を育成する。そこで学んだことを歌唱・器楽に生かし、更に音楽への興味を深めさせる。                    |
| 美術      | 主題や表現意図を明確にし、自分の表現に対する考えを説明したりできるようにする。自他の作品のよさを感じ取り、説明したりできるようにする。               | 表現の説明を整理して言葉で説明する機会を設ける。また、鑑賞活動の充実を図り、自他の作品のよさに触れさせる機会を設ける。表現活動と鑑賞活動の連続による、より深い活動ができるようにする。                          |
| 保健体育    | 自身の健康や体力に関心を持ち、主体的に課題を解決しようとする力を身に付けさせる。また、集団で行う運動を通して、規範意識と協調性を身に付けさせる。          | 健康・安全を第一に考え、準備運動・補強運動に取り組む環境をつくる。また、仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選び方について話し合う環境をつくる。新体力テストを基に自身の健康への関心を高める。                   |
| 技術・家庭   | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度や、生活や社会の中から問題を見出し、課題を解決していく力を養う。     | 生徒自身に生活や技術に関心をもたせながら、製作、制作、育成、実習、観察・実験、見学、調査・研究などの実践的・体験的な活動を通して、習得した知識・技能が生活の自立につながることに気付かせる学習活動を組み立てる。             |
| 外国語(英語) | 英語を通して異文化に触れ、物事を多面的・多角的にとらえる能力を育成する。また英語による表現で、思考力・表現力・判断力を育成する。                  | 二言語の物事のとらえ方や表現の違いを授業の中で取り上げる。また、授業の中で生徒が英語を発現する目的・場面・状況を意図的に設定し、生徒が自らの考えを表現する機会を作る。                                  |
| 道徳科     | 調布市の重点項目である「生命尊重」の態度を身に付けさせるとともに、本校の教育目標にある礼節を重んじ、思いやりのある生徒を育成する。                 | 生命尊重を主題とした「命の授業」を実施する。また、一方向的な価値観の伝達によらない、葛藤資料を活用した「生徒が主体的に考え、議論する道徳」を設定し、生徒が思考する時間を用意する。                            |